

気候変動の予測は？影響は？

～気候変動適応に必要な基盤情報の整備と情報発信～



長野県環境保全研究所 自然環境部

気候変動への適応を進めるため、気候変動の実態や将来予測、影響などの基盤情報を整備し、ユーザー視点にたった使いやすい情報の発信に取り組んでいます。

なぜ研究が必要なの？

<現状と課題>長野県は2019年4月1日に気候変動適応を推進する情報発信の拠点として「信州気候変動適応センター」を設置しました。しかし、信州の気候がどのように変動していくのかについて、情報の整備がまだ不十分であることや、今後適応策を実施するために必要な情報の把握・発信がまだ十分できていないことが課題となっています。



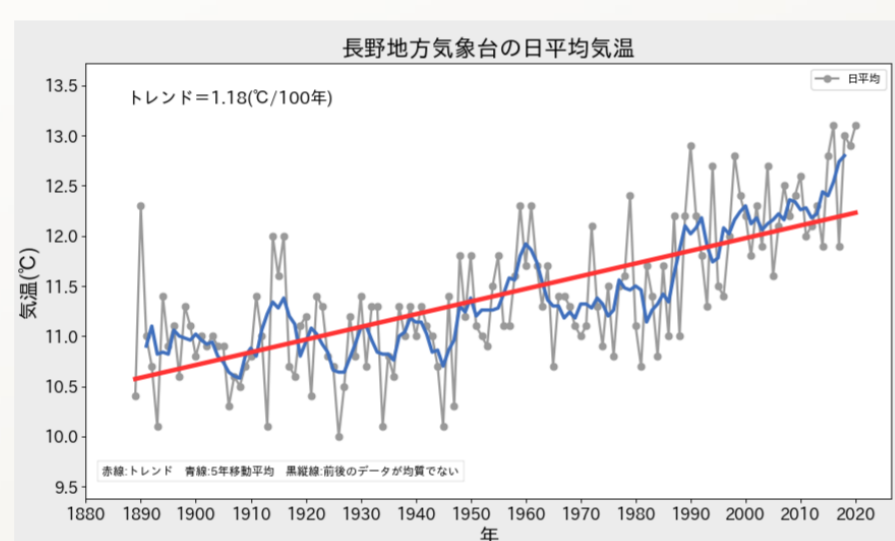
信州気候変動適応センターを設置（2019年4月1日）

<目的>本研究では、長野県における気候変動の適応を進めるため、気候変動の実態や将来予測、影響などの基盤情報を整備するとともに、適応策を実行する担当者が使いやすい情報を発信することを目的としています。

どうやって研究するの？

① データ収集と整理

気象庁をはじめ、国や県・市町村等が保有する気象データを収集しデータベースとして整理。



気象庁の気温データを収集・整理

② モニタリング調査

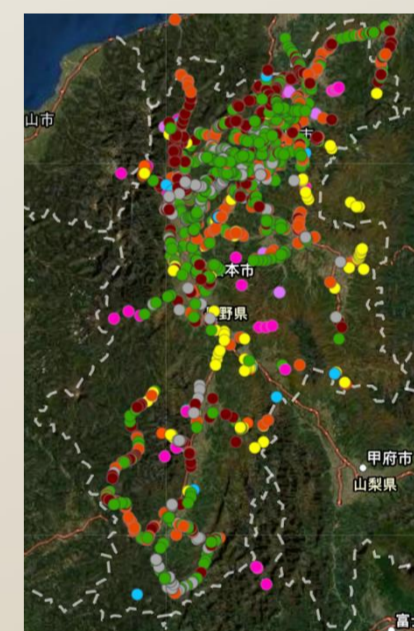
気候変動の実態を把握するため、雪や生物など独自のモニタリング調査を実施。



山岳地気象観測

月/年	2012	2013	2014	2015	2016	2017
Jan.						
Feb.						
Mar.						
Apr.						
May						
Jun.						
Jul.						
Aug.						

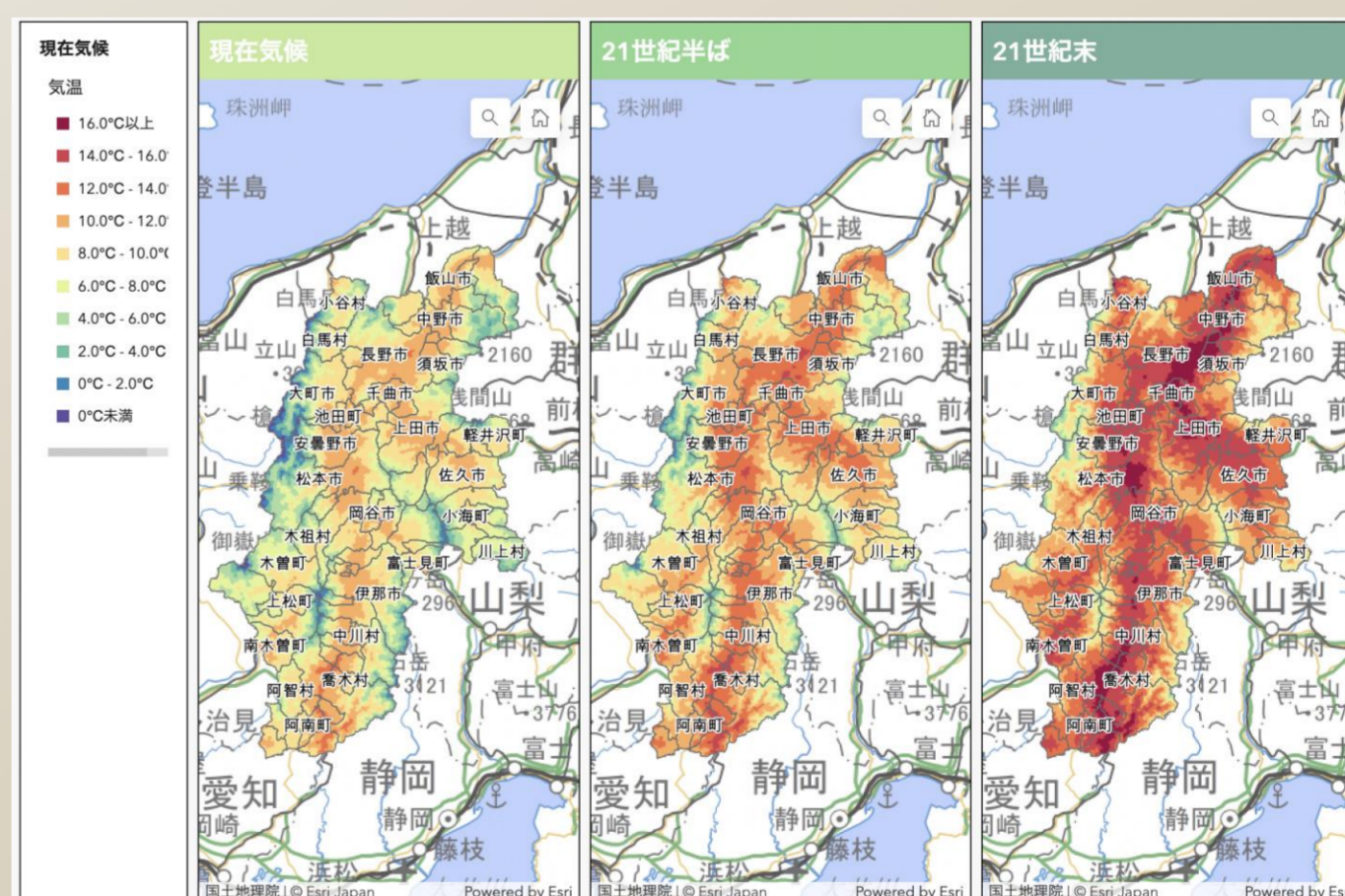
山の残雪モニタリング



セミの分布調査

③ 基盤情報の整備

- ①と②のデータを用いて気候変動の地域特性等を明らかにするとともに、気候変動予測や影響情報を収集し、基盤情報として整備。
- 適応策の検討や実施に必要なわかりやすい情報のデザインを実施。



GISデータとして整備した気候変動予測情報をホームページから発信

④ 情報発信

整備した情報をWEB、レポート、講座等により発信。

これまでの情報発信

① ホームページ



信州気候変動適応センター
<https://lccac-shinshu.org/>

② パンフレット



将来の気候変動予測と影響（8分野、20項目）を紹介



学生対象の気候変動影響調査環境学習プログラム

③ 講座等



サイエンスカフェ



市民向け講座